



# 飯能ロータリークラブ会報



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida



## 世界に希望を生み出そう

RI会長 ゴードン R. マッキナリー

第2570地区ガバナー 高丹秀篤  
第3グループガバナー補佐 齋藤栄作

希望を語ろう We are Rotary, together

### 第3079例会 2023. 8. 23

—— 会員増強推進月間 ——

天候 晴 (NO. 60-08)

会長 馬場正春 幹事 神田敬文

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 新井君、天ヶ瀬君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)973-1661 FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 馬場会長
- ・ソング それでこそロータリー
- ・記念卓話 ガバナー補佐 齋藤栄作様



#### 【入会式】

◎新入会員紹介

鎌田泰由(かまたやすよし)会員

細田(伴)君

狭山市笹井に妻・長男・長女の4人でお住まいです。1996年生まれ57歳。飯能高校卒。入間市の「株式会社いわさき」取締役会長。双柳に葬祭場「シティホール飯能」をご出店。趣味はゴルフ、柔道です。

◎鎌田会員挨拶

若輩者で右も左も分かりませんが、諸先輩方にご指導頂き、皆様方と共に少しでも地域のお役に立てればと思っております。入間市の大先輩、齋藤ガバナー補佐ご臨席の下入会式を行って頂き本当に嬉しく思います。今後共よろしくお願い致します。

◎馬場会長よりバッジ装着/歓迎の言葉/誓いの言葉/

額・四つのテスト・バナー贈呈/R C情報委員より資料贈呈/神田幹事より会員証贈呈/所属発表「社会奉仕」/記念撮影/乾杯: 細田(伴)パスト会長

#### 【会長報告】

FAXにて臨時理事会を行い、賛成を得た2点ご報告します。「BOX」修繕のため、製作された山川会員の会社に修理依頼。また、第2540地区(秋田県)に「秋田豪雨災害支援金」5万円を送金しました。

先程別室にて幹事、事務局と共に、齋藤ガバナー補佐からクラブ運営等についてさまざまご指導頂きました。8/21ご尊父・齋藤金作様(元・丸大観光(株)顧問)を偲ぶ会が当ホテルのホールで執り行われ、ご尊父の、会社に対する熱意や入間RC、ゴルフクラブ等にご貢献されたお話等伺わせて頂きました。心よりご冥福をお祈りしたいと思います。

#### 【幹事報告】

公式訪問、会場は6階です。制服、ネクタイ着用。11:30~高丹、齋藤両名と会長幹事他懇談。11:50~12:20、入会3年未満の会員と懇談会:町田、鈴木(勝)、小谷野、永安寺、秦、原島、志岐、岩泉、皆川、田中、鎌田会員、計11名対象。クラブ協議会は五大奉仕部門委員長に「クラブ活性化」を含めた内容で発表頂きます。9/13第4回理事会。8月RIレート:1ドル141円。

【出席報告】無届欠席1・MU0 大野(泰)出席向上委員長

会員数		当日	
全数	対象	出席数	出席率
65名	4名	56名	86.15%

#### 【ロータリーの友】

中川雜誌委員 8月号: 横組P4「思いやりの心で行動しよう」RI会長。P7「生涯の友が見つかる場所へ」川越RC小城会員(野村證券川越支店長)、山田会員(川越氷川神社宮司)の交流他。P22、ロータリー米山記念奨学事業。縦組P16、川越RCで親子3代が同時入会との記事。

#### 【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・齋藤ガバナー補佐ようこそ! 本日はよろしくお願ひします。中里(昌)君、細田(伴)君、矢島(巖)君、加藤君、馬場会長 中里(忠)副会長、神田幹事、森会長エレクト、川口SAA・鎌田会員、入会おめでとう。 細田(伴)君・早退します。 大野(康)君、大野(泰)君 本日計11,000円、累計額119,500円。

◎30日例会当番は永安寺、藤原会員です。

#### 【卓話】

### ガバナー補佐記念卓話

2023-24年度 国際ロータリー 第2570地区

第3グループガバナー補佐 齋藤栄作様 (入間RC)

鎌田さん、伝統ある飯能RCにご入会おめでとうご

ございます。素晴らしい入会式に立ち合わせて頂き有難うございます。会長からご紹介頂いたように先日「いわさき」さんのお力を借り、ここへリテイジ飯能で6月9日に93歳10か月で他界した父・金作を偲ぶ会を開催させて頂きました。飯能RCさんからはご供花と馬場会長はじめ数名の会員にご列席頂き感謝申し上げます。父もロータリアンで、入間RCに所属し「分区分代理」を務め、また、入間RC 30周年の時には「入間南RC」の創設に特別代表として尽力させて頂きました。本年度、入間は第65代の会長年度になりますが、私は5年前、第60代の会長を務め、水村ガバナー年度には地区大会実行委員長を務めさせて頂きました。皆さんにも大変お世話になりました。

飯能は中里(昌)さん、木川さん、和泉さんと補佐を輩出されており、また、私共も“伝統ある入間RC”と言われますが、飯能さんは一時72名まで上り詰めたと先程伺いました。大先輩をはじめ皆さんよく存じ上げている方ばかりなのですが、存じ上げない方も居られますので若干自己紹介をさせて頂きます。

入会は2005年。父が入会していた関係もありJC卒業後すぐ、というタイミングではなく、若干時間を置いて入会させて頂きました。職業分類は「旅客運送事業」です。入間市に本社を置く「丸大観光(株)」の社長を1999年から務めており、私で3代目です。埼玉、東京、神奈川でスクールバスをはじめ201台を展開。地元でハイヤー・タクシー44車両の車を持っており、毎日245車両が皆さんのお目につくようなところを走っております。1923年に祖父が事業を創め(9/15「貨物運送事業」県知事認可)、お蔭様で本年創立100年を迎えます。これからもよろしくお願ひ致します。

「地区」に権限は何も無く、「クラブ」が全ての議決権を持っているということですので、地区役員は「クラブ」と「RI (ロータリー・インターナショナル)」を繋ぐ役割、係だと教わっています。立場上「年度計画書」を拝見しましたが、素晴らしい内容で、「バイブル」としてその都度目を通して頂くものと思っております。ただ、RIの本年度テーマの英文が記載されておりませんでした。地区からデータを取る際に無かったとのことですが英文は非常に大事です。今後は必ず英文を付けて頂くようお願いいたします。今年度はCREATE HOPE in the WORLDです。「テーマ」はRI会長しか発することが出来ません。ガバナーは「スローガン」です。高丹ガバナーの「希望を語ろう」には英文が付されています。We are Rotary, together「ロータリーを一緒にやろうよ」これが高丹ガバナーの最も言いたかったことなのだろうと思っております。英文というのはそういう使い方もされております。

高丹ガバナーはご実家のある深谷RC所属ですがご自宅は東京。16年間、米国のパナソニックの会長を務められ英語はネイティブ。米国的発想をされる方で、帰国後はいろんなところでご苦勞をされたようです。次週も四駆のLEXUSをお一人で運転して東京から来られることと思っております。

RIの究極の目的は「世界平和」ですが、残念ながら今年度のRIテーマにはロシアのウクライナ侵攻が大きく影響しています。「希望」とは皆さんにとってどんなものですか？という問いを皆さんに投げかけさせて頂きたくしますので、お心の中で考えて頂ければと思っております。

「RC」「JC」「LC」は米国から来て「東京〇〇」に始まり日本全国に広がりました。RCはいろんなことを先駆けてやってくれる団体だと思っています。数年前からSDGsバッジも付けていますが今では当たり前のようになっています。RCはずっと以前からそういったことをやってきました(6つの重点分野「水と衛生」「母子の健康」等)。その後、国連が14項目のSDGsとしたわけです。

今年度大事なのはDXで、デジタルで無駄を省きましょうということ。ガバナー月信もほぼWeb公開のみとなります。

DEIについては「手続要覧」の中で今年度から最も重要な言葉、基本理念とされることが決定しています。概念が難しいので、DEIを企業として捉えるということなのかと考えてみました。



どういう組織が最も強いのか。例えば大河ドラマの『どうする家康』。そこに集まる人たちが、とても気持ちのいい組織で、自分が必ず受け入れられる組織で、自分が一生懸命やってきたことを隣の仲間に伝えた時に「ああ、分かるよ。そうだよ」「オレはこういうことをやってきたんだよ」とお互いに理解し合える組織。そんな空気感をもてればいろんな人材の宝庫となるでしょう。RCも一人ひとりがそれぞれの能力を尊敬し合い、RCの時間を費やすことが出来れば、これほど強い組織形態はありません。人数が多い少ないではなくその組織は群を抜いた力をもつでしょう。これが、私の見つけ出したDEIの根本かなと思っています。

Diversity(多様性) Equity(公平性) Inclusion(包括性)。Dの後にIを考えた方がいいです。多様な人たちを受け入れるベースをもとう。ただし一定のレベルがないと崩壊すると思います。Iは全ての人が尊重され大切にされていると感じられる環境、自分のアイデンティティーの一部を隠さず、ありのままの自分で居られる環境を築くこと。最後がE。「分配的公正」会社に貢献した結果それに見合う報酬や権限、評価を得られ、その処遇に納得した時に感じるもの。一方で、違うことは違うと明確に言っておけることが公正さに繋がる。これを「手続き的公正」と呼びます。分配の結果たとえ報酬が1,000円だったとしても、その分配を決める意思決定のプロセスに納得出来れば公正だと思える。それが大事な「公平性」です。

ある一定の基準をもって多くの人たちをRCに受け入れ、入ってきたその時に「私はここに居たい」「毎週来たい」という空気感を創り出して頂く。不公平さは人を腐らせるので、いろいろな運営をしていく時には会員の「公平性」に目を光らせ、公正な人たちを常にもって頂きたい。それによってますます飯能RCも栄えていくのではないかと思います。

DEIの概念には「四つのテスト」に近いものがありますが、ここまで企業的にはされていなかったのが、この度RIが新しくDEIのシステムを「手続要覧」にもってきた、ということをご理解下さい。

定款上、IMはRI会長がガバナーに裁量を委ねるものとなっております。ガバナーがやらないと言えやらないのですが、今年度、高丹ガバナーは全てのグループでIMをやってくれと言われました。そしてIMは主催者がガバナー補佐、ガバナーは来賓という扱いになります。第3グループ11クラブにとっては「ヘリテイジ飯能sta.」さんが最も利便性が高いと私は思っておりますので、坂本社長にお願いして、2024年2/21(水)に開催させて頂くようにしました。ガバナーから「懇親会は大事だよ」と言われたので懇親会も開催します。私が入間JC第20代理事長の時、「わんぱく相撲」を縁あって創めることになりましたが、25年経った今も「相撲のまち入間」であり、春日野部屋が毎年合宿をしてくれています。当時、共にJCに入っていた明大中野の相撲部出身の西澤会員から「人生を懸けて子ども達を指導するから齋藤さん『わんぱく相撲』創ってよ」と言われたのです。幕内に北勝富士大輝、大栄翔勇人、阿炎政虎(洗助)、幕下に栃武蔵陽太、塚原隆明、栃神山龍一、三段目に小林嵐。入間の相撲クラブ出身の子ども達7人が現在角界で活躍中で、「相撲を通した街づくり」をテーマに開催したいと思っております。当日大変お世話になると思いますがよろしくお願ひ致します。

アフガニスタンが唯一の野生のポリオ発生国でしたが戦争のせいでポリオの発生を抑え込めていません。ポリオワクチンの開発者ジョナス・ソーク博士の言葉を最後に紹介したいと思います。「希望は、夢を現実にしたと強く願う人たちの夢、想像力、そして勇気の中にある」。皆さんの思い描く「希望」に近づきましたでしょうか。ご清聴ありがとうございました。◎杉田会員より会葬の御礼